

浜の活力再生プラン
令和 7～11年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	尾鷲地域水産業再生委員会
代表者名	濱田 浩孝（三重外湾漁業協同組合 理事）

再生委員会の構成員	三重外湾漁業協同組合、尾鷲市
オブザーバー	三重県

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>【対象の範囲】 尾鷲市</p> <p>【漁業の種類】</p> <p>大型定置網（7経営体）、小型定置網（9経営体）、刺網（55経営体）、マグロ延縄（2経営体）、一本釣り（25経営体）、採貝藻（22経営体）、その他（2経営体）、魚類養殖（14経営体）※重複あり</p> <p>※令和5年12月現在</p>
-------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>尾鷲地区の水産業は古くは熊野灘沖合でのカツオ一本釣りで繁栄してきたが、近年はカツオ漁場の形成が少なくなり、尾鷲市内のカツオ船の隻数は少数となり、水揚げは員外船の水揚げに依存している。かつての沖合でのカツオ一本釣り漁業から、定置網、いせえび刺網、及びカツオやイカ等を対象とした一本釣り等の沿岸漁業への移行が見られている。湾内ではマダイを中心にした魚類養殖が盛んに行われているが、魚価の低迷、飼料価格の高騰等により、経営が厳しい状況にある。近年の尾鷲地区の漁業を取り巻く状況は厳しいものとなってきている。</p> <p>大型定置網業者が「もうかる漁業創設支援事業」や「浜の担い手漁船リース緊急事業」を活用して代船建造、網の改良等を行い、操業の効率化を図るとともに、収益性の改善を図っている。近年、水揚げの増大を目的に員外マグロ延縄船の誘致に力を入れてきたことに加えて、平成23年6月、平成29年12月に地域内において鮮度保持能力の高い近海マグロ延縄船が新たに竣工したことにより、尾鷲港におけるマグロの水揚げ量が増加した。また、定置網業者が水産物の付加価値向上を図るためにブリ、アオリイカ等の活〆等による付加価値の向上にも取り組んでいる。</p> <p>地区の漁協は経営状況が厳さを増し、平成22年に市内9漁協のうち5漁協が、5市町にまたがる広域の三重外湾漁協への合併に参加し、翌平成23年には単独の4漁協のうち3漁協が合併した。更に平成30年9月には市内漁協は全て三重外湾漁協に合併した。市内には尾鷲、九鬼、早田、三木浦の4地区に産地市場を開設しているが、漁獲量の減少、魚価の下落、仲買人の減少等により、今後、市場の集約化を進める必要性がある。</p> <p>地区の水産業を活性化するためには、魚価向上、コスト削減の取組を引き続き実施することに加え、魚食普及や地域内での消費拡大、地先資源の有効活用や水揚げ量の増加にかかる取組を更に推進していくことが求められる。尾鷲地区の基幹産業である水産業の活性化を図りながら、魚市場の集約化を検討し、受け入れ体制構築のために、老朽化した市場施設の建替えを視野に入れて、市場の衛生化に係る取組も実施していく必要がある。また、既存市場の老朽化も著しく、老朽化した施設の更新・撤去が求められる。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

平成25年度より尾鷲市内の一部区間を除き、熊野市まで自動車専用道路が伸展した結果、名古屋市や津市など都会からのアクセスの利便性が飛躍的に向上した。また、観光スポットとして世界遺産登録されている熊野古道を有しており、県内外から多くの観光客が訪れることが期待される地域となっている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1 漁業収入向上のための取組

・定置網漁業

定置網漁業者は、旬の魚であるブリ等の活〆等による魚価向上の取組を継続し、代船建造や網の改良等による操業の効率化、乗組員の削減等によるコスト削減を推進していく。漁協は他の漁業者に対し、新たに取組が波及するように促す。また、集約市場である尾鷲魚市場への出荷体制の構築に向けて検討する。

黒潮大蛇行の長期化等、漁場環境の変化に対応した新たな漁法や漁獲対象種等の検討・実施に努める。

・養殖業

高水温に伴う魚病被害のリスクが高まっているため、対策を講じる必要がある。魚類養殖生産者が尾鷲市と連携して作成した魚病対策プログラムに基づいた体表寄生虫等の調査等を継続することで、魚類養殖術の向上を図り、生残率の向上を図る。これらは三重県の魚類養殖としての共通課題であり、県の魚類養殖業者が一丸となって取り組む必要があるため、三重県海水養魚協議会が開く研修会等に積極的に参加し、養殖技術の向上を図るとともに対策を実施する。

主力魚種であるマダイ等については、餌料改善等により品質向上を図る。加えて、地域に適した魚種を選定し、新魚種の導入を検討することで、既存魚種であるマダイ・マハタ・シマアジ等と組み合わせ、魚種を分散させた安定的な養殖経営を目指す。

漁協、漁業者は、ヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の拡大を目指し、市は、技術の普及や向上への支援を行う。これにより、藻類・二枚貝養殖の生産量増大を図る。

・資源管理、漁場環境保全

浜プランに参画する漁業者は、自主的な資源管理に取り組む。漁業者等は食害生物（ウニ類）の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等により、藻場等の保全や資源保護・育成に努めることで、これらの資源回復による水揚量の維持・増加を図る。

2 漁業コスト削減のための取組

・ICT技術の活用

定置網漁業者は、モニタリングシステム等のICT技術の導入に取り組み、出漁前の魚種判別や入網量予測により操業を効率化し、燃油代や氷代の削減を推進する。

・水産関連施設の機能再編

漁協合併により、市内の漁協はひとつに集約されているため、漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて検討し、衛生管理の強化に取り組む。また、既存の市場の利便性対策、老朽化した施設の更新・撤去などの検討・実施を進め、水揚げや出荷作業に伴う燃油代や氷代などのコストの削減を推進する。

3 漁村の活性化のための取組

・魚食イベントの開催による地域活性化

漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続することで地域の漁業の魅力や文化を広く発信する。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。

・担い手対策

漁協及び漁業者は「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」の実施を継続し、後継者の確保・育成を行う。

(3) 資源管理に係る取組

三重県漁業調整規則等の漁業関係法令

三重県資源管理指針

三重県尾鷲湾口海域におけるぶり等に関する定置網漁業の資源管理協定

三重県熊野灘海域におけるぶり等に関する定置網漁業の資源管理協定

三重県熊野灘海域におけるさんま棒受網漁業の資源管理協定

三重県紀北地域におけるマアジ等に関する小型定置網漁業の資源管理について定めた協定

三重県紀北町地域におけるイサキに関する一本釣り漁業の資源管理について定めた協定

三重県紀北地区におけるカツオ等に関する一本釣り漁業の資源管理について定めた協定

三重県伊勢湾口海域及び熊野灘海域における中型まき網漁業に関する資源管理について定めた協定

引本湾・須賀利湾漁場改善計画

須賀利沖三ツ石漁場改善計画

尾鷲湾漁場改善計画

早田湾漁場改善計画

賀田湾漁場改善計画

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）3.4%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①定置網漁業者は、ブリやアオリイカ等の旬の魚の活〆等による魚価向上に取り組む。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証に努めるとともに、他の漁業者への波及を促すため、横展開に検証結果を活用する。</p> <p>②漁協、漁業者は、定置網漁業等において、代船建造や網の改良等について検討を進めるための情報収集を図る。</p> <p>③魚類養殖生産者が尾鷲市と連携して作成した魚病対策プログラムに基づいた体表寄生虫等の調査等を行いつつ、餌料改善等を検討し、魚類養殖術の向上を図る。</p> <p>④漁協、漁業者は、相互の情報共有による技術向上や漁場の拡大に取り組むことでヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の導入・規模拡大を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p> <p>⑤漁業者等は食害生物の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、操業の効率化による燃油や氷の削減効果等を把握する。</p> <p>②漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて、課題の整理を検討するとともに、衛生管理の強化に取り組む。既存の市場の利便性対策、老朽化した施設の更新・撤去などの課題の整理を検討する。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>①漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>②漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業（国） 浜の担い手漁船リース緊急事業（国） 水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国） 競争力強化型機器導入緊急対策事業（国） 漁業人材育成総合支援事業（国） 就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター） 尾鷲市漁業体験教室事業（尾鷲市） 漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市） 漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市） 水産業強化支援事業（国）</p>

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①定置網漁業者は、ブリやアオリイカ等の旬の魚の活〆等による魚価向上を継続する。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証に努めるとともに、他の漁業者への波及を促すため、横展開に検証結果を活用する。</p> <p>②漁協、漁業者は、定置網漁業等において、代船建造や網の改良等について検討を進めるための情報収集を図る。</p> <p>③魚病対策プログラムに基づいた体表寄生虫等の調査等を継続しつつ、餌料改善等を検討し、知見を蓄積する。</p> <p>④漁協、漁業者は、相互の情報共有による技術向上や漁場の拡大に取り組むことでヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の導入・規模拡大を進め、市は、技術の普及や向上への支援を行い、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p> <p>⑤漁業者等は食害生物の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、操業の効率化による燃油や氷の削減効果等の把握を引き続き行う。</p> <p>②漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて、課題の整理を検討するとともに、衛生管理の強化に取り組む。既存の市場の利便性対策、老朽化した施設の更新・撤去などの課題の整理を検討する。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>①漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>②漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業（国） 浜の担い手漁船リース緊急事業（国） 水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国） 競争力強化型機器導入緊急対策事業（国） 漁業人材育成総合支援事業（国） 就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター） 尾鷲市漁業体験教室事業（尾鷲市） 漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市） 漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市） 水産業強化支援事業（国）</p>

3年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）10.1%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①定置網漁業者は、ブリやアオリイカ等の旬の魚の活〆等による魚価向上を継続する。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証に努めるとともに、他の漁業者への波及を促すため、横展開に検証結果を活用する。</p> <p>②漁協、漁業者は、定置網漁業等において、代船建造や網の改良等について検討を進めるための情報収集を図る。</p> <p>③魚病対策プログラムに基づいた体表寄生虫等の調査等を継続しつつ、蓄積された知見を活かし、さらなる生残率の向上を目指す。加えて、餌料改善等を検討し、品質の向上を図る。また、地域に適した魚種を選定し、新魚種の導入を検討する。</p> <p>④漁協、漁業者は、相互の情報共有による技術向上や漁場の拡大に取り組むことでヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の規模拡大を進め、市は、技術の普及・向上への支援を行い、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験に取り組む。</p> <p>⑤漁業者等は食害生物の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、操業の効率化による燃油や氷の削減効果等の把握を引き続き行う。</p> <p>②漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて、課題の整理を検討するとともに、衛生管理の強化に取り組む。既存の市場の利便性対策、老朽化した施設の更新・撤去などの課題の整理を検討する。検討結果をふまえ、必要に応じて機能再編・施設整備を行う。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>①漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>②漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業（国） 浜の担い手漁船リース緊急事業（国） 水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国） 競争力強化型機器導入緊急対策事業（国） 漁業人材育成総合支援事業（国） 就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター） 尾鷲市漁業体験教室事業（尾鷲市） 漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市） 漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市） 水産業強化支援事業（国）</p>

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①定置網漁業者は、ブリやアオリイカ等の旬の魚の活〆等による魚価向上を継続する。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証に努めるとともに、他の漁業者への波及を促すため、横展開に検証結果を活用する。</p> <p>②漁協、漁業者は、定置網漁業等において、代船建造や網の改良等について検討を進めるための情報収集を図る。</p> <p>③魚病対策プログラムに基づいた体表寄生虫等の調査等を継続しつつ、蓄積された知見を活かし、さらなる生残率の向上を目指す。加えて、餌料改善等を検討し、品質の向上を図る。また、地域に適した魚種を選定し、新魚種の導入を検討する。</p> <p>④漁協、漁業者は、相互の情報共有による技術向上や漁場の拡大に取り組むことでヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の規模拡大を進め、市は、技術の普及・向上への支援を行い、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験を継続する。漁場の変化に合わせて、新たな養殖種について情報収集を図る。</p> <p>⑤漁業者等は食害生物の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、操業の効率化による燃油や氷の削減効果等の把握を引き続き行う。</p> <p>②漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて、課題の整理を検討するとともに、衛生管理の強化に取り組む。既存の市場の利便性対策、老朽化した施設の更新・撤去などの課題の整理を検討する。検討結果をふまえ、必要に応じて機能再編・施設整備を行う。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>①漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>②漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業（国） 浜の担い手漁船リース緊急事業（国） 水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国） 競争力強化型機器導入緊急対策事業（国） 漁業人材育成総合支援事業（国） 就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター） 尾鷲市漁業体験教室事業（尾鷲市） 漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市） 漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市） 水産業強化支援事業（国）</p>

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①定置網漁業者は、ブリやアオリイカ等の旬の魚の活〆等による魚価向上を継続する。市は、県の研究機関等と連携し、四季の旬の魚の脂質含量等の測定や活〆の鮮度保持効果の検証に努めるとともに、他の漁業者への波及を促すため、横展開に検証結果を活用する。</p> <p>②漁協、漁業者は、定置網漁業等において、代船建造や網の改良等について検討を進めるための情報収集を図る。</p> <p>③魚病対策プログラムに基づいた体表寄生虫等の調査等を継続しつつ、蓄積された知見を活かし、さらなる生残率の向上を目指す。加えて、餌料改善等を検討し、品質の向上を図る。また、地域に適した魚種を選定し、新魚種の導入に必要な種苗確保等について検討する。</p> <p>④漁協、漁業者は、相互の情報共有による技術向上や漁場の拡大に取り組むことでヒロメなどの藻類、マガキなどの二枚貝養殖の規模拡大を進め、市は、技術の普及・向上への支援を行い、二枚貝の地場採苗、品質向上などの養殖試験を継続する。漁場の変化に合わせて、新たな養殖種について情報収集を図る。</p> <p>⑤漁業者等は食害生物の除去やヒラメ、カサゴ等の種苗放流、アオリイカの産卵床の設置等に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①定置網モニタリングシステム等のICT技術を既に活用している漁業者は、操業の効率化による燃油や氷の削減効果等の把握を引き続き行う。</p> <p>②漁協は、水産関連施設の機能再編、集約市場である尾鷲魚市場への集出荷体制の構築に向けて、課題の整理を検討するとともに、衛生管理の強化に取り組む。既存の市場の利便性対策、老朽化した施設の更新・撤去などの課題の整理を検討する。検討結果をふまえ、必要に応じて機能再編・施設整備を行う。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>①漁協、市は、関係団体とともに、「おわせ魚まつり」等のイベントの開催を継続して行う。また、漁業者、加工業者と連携し、市内小中学校において、地域の水産物を利用した料理教室等を実施する。</p> <p>②漁協及び漁業者は、「尾鷲市漁業体験教室」の受け入れ、漁協は「早田漁師塾」を実施し、後継者の確保・育成を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業（国） 浜の担い手漁船リース緊急事業（国） 水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国） 競争力強化型機器導入緊急対策事業（国） 漁業人材育成総合支援事業（国） 就業促進研修事業（三重県農林水産支援センター） 尾鷲市漁業体験教室事業（尾鷲市） 漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市） 漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市） 水産業強化支援事業（国）</p>

(5) 関係機関との連携

三重県、三重県水産研究所、三重県漁連、尾鷲商工会議所、尾鷲水産加工組合、尾鷲観光物産協会等と連携し、取組を推進する。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の成果を評価・分析するため、委員会事務局が策定した自己評価案を尾鷲市等と共に審議・評価し、次年度の取組の改善等につなげる。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

① 所得向上の取組に係る成果目標

大型定置網漁業における魚 価の向上	基準年	令和元年度～ 令和5年度 5年平均：	345	円／kg
	目標年	令和11年度：	354	円／kg

② 漁村活性化の取組に係る成果目標

おわせ魚まつり来場者数の 増加	基準年	令和5年度：	5,500	人
	目標年	令和11年度：	6,000	人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

ブリ等の旬の魚の活〆等による魚価向上の取組を継続することで、魚価の向上を目指し、所得向上を図る。これらの取組が継続されてきた大型定置網漁業における過去5ヵ年平均単価345円を基準年とし、最終年度平均単価354円（2.5%向上）を目指す。

おわせ魚まつりを継続することで、地元の漁業者が直接消費者と接する機会を提供し、地域外からの観光客を呼び込むことで、地域経済全体に波及効果をもたらし、宿泊施設や飲食店など他産業への貢献も期待される。さらに、漁業の魅力や地域の文化を広く発信する機会が得られ、地域住民の誇りや一体感の醸成、地域活性化にも寄与する。こうしたイベントを通じて、漁村のブランド価値を高めるとともに、継続的な地域活性化の土台を築くことを図る。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
もうかる漁業創設支援事業（国）	地域の漁業者や流通・加工業者、造船業者等及び地方公共団体が一体となって、収益性を向上するための改革計画を作成し、その改革計画に基づく実証を行う取組を支援
競争力強化型機器導入緊急対策事業（国）	生産性の向上、省力、省コスト化に資する漁業用機器の導入を支援
浜の担い手漁船リース緊急事業（国）	所得向上に取り組むために必要な中古漁船又は新造漁船の導入に要する経費を助成
水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）	漁業者自らが行う収益性の向上と適切な資源管理又は漁場改善を両立させる取組に対する支援
漁業人材育成総合支援事業（国）	漁業現場での実施による長期研修、漁業活動に必要な技術取得等の支援
就業促進研修事業 （三重県農林水産支援センター）	漁業現場での短期研修、長期研修にかかる研修経費等の支援
尾鷲市漁業体験教室事業（尾鷲市）	3泊4日の漁業体験の宿泊費等の支援
漁業後継者確保支援整備事業（尾鷲市）	長期研修にかかる研修経費等の支援
漁師育成機関運営支援事業（尾鷲市）	早田漁師塾の実施にかかる経費の支援
水産業強化支援事業（国）	浜の活力再生プランに位置付けられた共同利用施設の整備等を支援